

1 トウニン末

2 生薬の性状の項を次のように改める。

- 3 生薬の性状 本品は帯赤淡褐色～淡褐色を呈し、ほとんどにお
4 いがなく、味は僅かに苦く、油様である。
- 5 本品を鏡検 (5.01) するとき、通例、径10～30 μm のシュ
6 ウ酸カルシウムの集晶を伴った褐色の種皮外面表皮片、長多
7 角形、鈍三角形又は帽子形で、大きさが多様な石細胞、子葉
8 の柔組織片及び油滴を認め、不整の多角形の細胞からなる褐
9 色の種皮内面表皮片を認めることがある。柔組織中にはアリ
10 ユーロン粒を認め、径10 μm 未満のシュウ酸カルシウムの結
11 晶を認めることがある。
- 12